

蚊の発生を防いで 快適な夏を過ごそう!!

キーワードは『水たまりをなくす!』



ヒトスジシマカの吸血

蚊が媒介する感染症を予防しましょう!!

デング熱やジカウイルス感染症(ジカ熱)って?

主にウイルスを持った蚊(日本ではヒトスジシマカ)に刺されることで感染し、発熱や関節痛、発疹等の症状が出る場合があります。ジカ熱は妊婦の感染で胎児に先天性障害を起こすことがあります。デング熱では出血熱となり重症化する可能性があります。ワクチンや治療薬がないため、症状がある場合は早めに医療機関を受診してください。

いずれも海外で流行している感染症ですが、日本にも感染症を媒介するヒトスジシマカは生息しており、ウイルスが持ち込まれる可能性があります。日頃から家の周りでの防蚊対策に取り組みましょう!



発生源対策(幼虫対策)

蚊を増やさない!

蚊は、下の写真のような放置された空き缶、バケツ、植木鉢の受け皿、古タイヤ等の小さな溜まり水に卵を産み、それがふ化してボウフラ(幼虫)が発生します。不要なものは“廃棄”し、溜まった水は『週に1度*』は“ひっくり返し”、日頃から水が溜まる場所を作らないようにしましょう。

*水たまりに産卵された蚊の卵が成虫になるまでに、約2週間かかります。



▲ 放置された空き缶



▲ 雨ざらしの用具



▲ 水の溜まった鉢



▲ 古タイヤ



▲ 水の溜まった埋設型散水栓



▲ 放置されたペットボトル



▲ 旗立て 支柱立て



▲ 水の溜まったビニール

成虫対策

蚊にさされない!

殺虫剤を使った成虫の駆除は、一時的には効果がありますが、長続きしません。

殺虫剤は補助的に使用し、蚊に刺されないための環境を整えましょう!

☑ 蚊の侵入を防ぐ

- ・窓に網戸を設置する
- ・扉を開けっ放しにしない



☑ 蚊の潜み場所をなくす

- ・やぶや草むらを刈り取り、蚊の潜み場所を作らない

☑ 蚊の吸血を防ぐ

- ・外での作業時は、明るい色の長袖・長ズボンを着用する
- ・皮膚が露出する部分には、虫よけ剤(ディートやイカリジンを含むもの)を使用する
- ・蚊取り線香を使用する



▲ 窓の開口部には網戸を!



▲ やぶは刈り取りましょう

川崎市の取組み

ここでは、川崎市で行っている蚊媒介感染症対策について御紹介します。



成虫調査

川崎市では、2002年から、毎年蚊の発生時期に合わせ、市内公園等において蚊(成虫)を捕集し、それらのウイルス保有状況を確認しています。調査結果は市ホームページで公開しています。(リーフレット下部参照)



幼虫調査

2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた新たな取組みとして、2018年度から、事前キャンプ施設等で雨水ますのボウフラ生息状況の確認と駆除薬剤の投入を実施しています。

相談窓口

※薬剤散布や清掃等は実施していません

蚊についての御相談・お問い合わせは、お住まいの区の地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)衛生課まで

川崎区役所 衛生課	201-3223	宮前区役所 衛生課	856-3265
幸区役所 衛生課	556-6682	多摩区役所 衛生課	935-3310
中原区役所 衛生課	744-3280	麻生区役所 衛生課	965-5163
高津区役所 衛生課	861-3321	川崎市保健所 感染症対策課	200-2441

市内公園等の蚊のウイルス保有状況等を川崎市ホームページで公開しています。
(<http://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000060863.html>)

